

うちゅうせん新聞

広報係 10年3月20日発行 4号

仙台市天文ボランティア会報

例会より

場所：天文台研修室

11月28日(土) 14:00~15:30 出席者 9名

- ・パスポートの購入補助について
- ・観望会の予定連絡
12月からの3回分の参加者の確認
- ・落合市民センタで実施の大人のための天文講座の受講アンケートの紹介(興味が湧いてきた。また開催して欲しい等)

12月26日(土) 12:00~14:00 出席者 11名

- 観望会の連絡 泉市民センターの参加
- 黒松市民センターの参加
- 全体会の場所について

街中で検討する。

パスポートの購入補助について

1月23日(土) 14:00~16:00 出席者 6名

- 観望会の連絡、
- 七郷市民センターの参加について
- 泉パークタウンサービスは後日。
- 天文台まつり

2月6, 7日に開催。

全体会の日程、場所の確認。

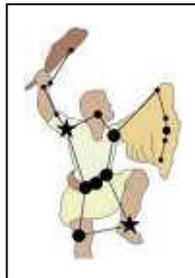
2月20日(土) 14:00~16:00

出席者 6+1名

- 観望会 予定無し(3月中は)
- 全体会、打ち上げの場所の確認
- 天文台まつりの報告
- うちゅうせんの例会に

阿部さんが参加されました。

もしかして入会?
今後に期待します。
宝示戸さんの手作り望遠鏡をみて楽しんでいました。



写真：2/20(土)
七郷市民センタ観望会
スタッフ4 / 参加15名



今年度発行4号になりました。日食など多くの記事を投稿して頂き感謝しております。これからも多くの分野での記事を載せられるよう、ご協力をお願いします。

観望会より

東松島(6回目・野蒜小&宮戸小)観望会 11月19日(木) 18:30~20:00(うちゅうせん3名、参加者33名)

あいにくの曇り空で星が見れませんでした。

挨拶・自己紹介の後、生徒が持参した星座早見盤の使い方と星座の説明、地球儀を使って月との関係の説明、オリオンとさそりを見て貰ってから、日食の話、最後に質問コーナーで終了。天文シールが参加賞でした。少人数だったからかもしれませんが、私語も無く全員が集中して聞いてくれたのが印象に残りました。

シリーズで実施した東松島(松島自然の家)は今回が最終回となりました。

なお11/17実施予定の5回目は、インフルエンザの影響で中止だった事を申し添えます。

落合市民センタ観望会 11月25日(水) 18:30~20:30(うちゅうせん3名、参加者30名)

今夜はこれ以上無い好天に恵まれました。

「大人のための天文講座」となっていますが、お子さんも何人か・・・?と思っていたところ、女子高生2名以外は全員大人の方。これって結構珍しい事ではあります・と言う事で大人向けのお話もチョット(笑)

挨拶・自己紹介の後、今月の星空説明、皆さんうなづいたりメモを取ったりしながら熱心に聞いていました。その後玄関先に準備した3台の望遠鏡で上弦の月・木星・すばるを見てもらいました。レーザーポインターを使って夏の大三角・北極星・カペラ・アルデバランなど質問に答えながらの説明も・・・

その後室内に戻り「オリオンとさそり」残り時間が12分となった時点から質問コーナーでした。いくつか出た後で流星群の質問が有り、黒板に書きながら説明していたら8分程時間超過となりました。感想の書いてあるアンケートのコピーを見る限りでは大方ご満足頂けたようです。

長明が丘市民センタ観望会 11月28日(土) 18:30~20:00(うちゅうせん5名、参加者30名)

挨拶・自己紹介の後「今月の星空説明」を終え外に出て貰った時には若干の雲があったものの月齢12の月・木星・すばるを楽しんでもらう事が出来ました。最後に再び会議室に戻り「オリオンとさそり」引き続いて月や星の動きの話をしていたら残り時間が数分になったので質問の時間にしたところ、日食の話をして欲しいとの要望が出たため、若干の延長になる了解をいただき実施しました。

寺岡市民センタ観望会 12月4日(金) 18:30~20:30(うちゅうせん4名、参加者24名)

イベントタイトル・天体観望会~宇宙の不思議~

半数の方が昨年夏にも参加された方だったのと、低学年児童の参加が多かったのが印象的でした。

自己紹介、今月の星空までは空は雲だらけ、星空説明の終盤で外で待機の太石さんから木星が見え出した・の連絡が有り、急遽室外に出て貰い3台の望遠鏡で見え隠れする木星とすばるを楽しみました。全員が見終わった段階で再び室内に戻り、やり残し分の今月の星空説明・オリオンとさそり・日食・オーロラと盛り沢山・最後の質問コーナーでは見たばかりの木星の質問がいくつか出ました。

参加賞として天文シールと天体写真をお持ち帰り頂き、散会となりましたが、帰り際に希望者には延長戦で昇って来た月を見てもらい喜ばれました。

七郷市民センタ(荒浜小)観望会 12月12日(土) 18:00~20:00(うちゅうせん4名、参加者11名)

挨拶・自己紹介の後今月の星空説明・星座物語は「くさりにつなされたお姫様」と「プレアデスの7人姉妹」の2本立て・最後に南の島で採って来たという「星の砂」を全員にプレゼントしての説明と本物の「隕石」を使っての説明が有り、皆熱心に見・聞きしてました。2歳男児だけはさすがに途中で寝てしまいました(笑)最後の質問コーナーでは中々質問が出ませんでした。大人の方から星座表の質問が一つだけ有りました。全部終了してお帰りの時に、見え隠れするすばるを全員に見てもらう事が出来ましたが、開始前には見えていた木星は雲に隠れ最後までその姿を見せる事は有りませんでした。

泉中央市民センタ観望会 1月23日(土) 18:00~20:00(うちゅうせん3名、参加者30名)

外は雲だらけで観望は絶望的。と言う事で依頼の有ったオーロラの話から始めましたが途中で月が見られるとの連絡で、急遽前の駐車場へ出て綺麗な上弦の月を見て貰いました。参加された皆さん全員が喜び、特に子供達には望遠鏡で見るお月様のクレーターが楽しかったようでした。すばるの方向は雲が多く、数人しか見る事が出来なかったのが残念でした。

一通り月を見たところで室内に入り、星座物語は「プレアデスの7人姉妹」最後の質問コーナーでは子供たちから、太陽・月の温度、星の年齢などの質問が一杯出て予定の終了時刻をオーバーしてしまいました。

黒松市民センタ観望会 1月27日(水) 18:30~20:30(うちゅうせん5名、参加者11名)

場所が広い体育館・と言うことも有り、男女2名の幼児は始終走り回っていましたが、星座物語の時だけは板の間に座り込み、集中して見・聞きしてました。かなり大きくなった月・接近中の火星・すばるを見て貰いました。この時期にしては寒さも余り厳しくなく、目の前の生協の明かりもなんのその皆さん楽しそうに何度も何度も望遠鏡を覗きこんで楽しんでいました。

星座物語は「オリオンとさそり」と「プレアデスの7人姉妹」の2本立て、その他諸々。

海岸公園・冒険広場観望会 2月13日(土) 18:00~20:00(うちゅうせん4名、参加者23名)

今月の星空説明の後外へ出て、冬の星空・すばる・火星・オリオン大星雲などを見て貰いました。今日が旧暦の大晦日、明日(14日)が元日ですから新月です。当然ながらお月様は見ることが出来ません。見られた天体でのインパクトは少なかったかもしれませんが。寒さもあり、3台の望遠鏡と双眼鏡を一通り見たところで室内に戻り、星座物語(プレアデス・・・とオリオンとさそり)その後、日食の話・最後の質問コーナーでは中々質問が出ませんでした。大人の方から天の川と流れ星の質問が有りしました。

11分オーバーして終了となり、終了後、天文シールと天体写真を参加賞としてお持ち帰りいただきました。年明け後3回目の観望会で3連勝!(晴天)

🔍 雑感(新聞を読んで)

3月5日河北新報のトップ記事について・・・
「小惑星衝突説で決着」6550万年前の恐竜絶滅
<河北新報1面要旨>

白亜紀末の恐竜や海洋生物など生物の大量絶滅は、メキシコ・ユカタン半島付近に直径10～15キロの小惑星が衝突して起こった。ドイツの大学(地質学)助教授をリーダーに、東北大助教授ら12カ国41人のさまざまな分野の研究者が結集し、従来有力だった天体衝突説が「正しい」とする結論を出したとの記事。結論としては
(1)世界各地の白亜紀末の地層に天体衝突の物質
(2)衝突時の地層を境に生物大量絶滅の痕跡
(3)光合成生物の活動が長期間停止するほど大気中にちりなどが留まった等。

小惑星衝突によって巻き上げられた物質が太陽光を遮断し、食物連鎖の基底にいる光合成生物が死滅。恐竜なども食料を採取できなくなり、全体で60%を超える生物が絶滅したとするシナリオを複合的に裏付けた。・・・(新聞記事より)

私が学校時代に好きだったSF小説のような世界が事実と裏付けられることは、納得の反面、終末期などと呼ばれる事態が身近に起こるのではという現実味を帯びた驚きとして感じました。

2/28昼にたまたま所用で仙台駅に行った帰り、チリ大地震による津波警報のためJR線のストップに遭遇し穏やかな日常でも恐怖がやってくるのだという思いをしたばかりで、この経験も一因でしょうか。

また昨年、古代マヤ文明の暦が終わる2012年12月21日に地球が滅亡するという予言を題材にした映画「2012」が話題を呼び、先日の地震も含めなぜか南アメリカ付近に偏っているのも気になってしまいます。

子供の頃はこのような話が大好きで、宇宙人とか雪男とか好んで読んでましたが大人になるに従い安心を求め、冒険できなくなっていると思います。宇宙規模で考えるとこれらは小さな地球の身震いでしょうかここでしか生きられない私たちにとっては地球の悲鳴と思い古代の人のように謙虚に大切に、自然への敬意を忘れずいたいと思うこの頃です。(渡辺)

寄稿<太陽を観る・2009> 遠藤

最近の太陽は無黒点が続き、変化に乏しい状態が続いています。しかし、それは白色光での話であり、別の光で観た太陽はまた別物です。以前、天文イベント会場で見たプロミネンスが忘れられず大英断をしてH 望遠鏡を購入しました。

同じ太陽であるにもかかわらず、見せる表情は表現豊かで、黒点の卵や白斑も良くわかります。これまでは雑誌やテレビでしか見たことのないプロミネンスは見ているうちに形が変わり、巨大な太陽の醜態味を感じます。

望遠鏡は価格の割には小型なので、小さな経緯台に乗せ30倍で観ています。使用頻度を上げるために、物置の入り口に「燃えないごみ」の袋をかぶせただけで置いておき、日の出の早い季節には出勤前に5分程度あればチョイ見感覚で、休日には高度の高い時間にじっくり観察しています。一日の半分は昼です。この望遠鏡の購入によって、夜しか楽しめなかった宇宙の姿を一日中見ることができるようになりました。

[解説]白色光とは
全ての波長、つまり、紫から赤までの波長が混ざっている光で、それらを合わせると白色になることから、一般に白色光と言っています。この光で見る望遠鏡は、ごく普通の望遠鏡です。太陽投影版。白色光にサングラスをつけて減光して見る太陽。などなど、普通に使っているものです。

[解説]H 用望遠鏡とは
水素の出す光、波長は(656.3ナノメートル。6563)で見る望遠鏡で、PSTやソーラーマックス望遠鏡があります。
私は、小口径にサングラスをつけて白色光で、H線はソーラーマックスを使用しています。

伝言板の話題(うちゅうせんホムへーじ)より
大倉ふるさとセンター 投稿者:船長 投稿日:2009年10月30日 参加者:大人子供合わせて30人ほど
今回は初めて依頼があった大倉ふるさとセンターで「十三夜の月と木星を見る会」でした。センター側も初の試みだったようです。敷地内の古民家が室内会場で、囲炉裏で薪が燃え煙が火棚を通して茅葺の屋根裏に昇って行きます。囲炉裏には自在鉤と鉄瓶が・・・50年前にタイムスリップしたような懐かしい雰囲気でした。(一部省略)

東松島市よりアンケートが・・・ 投稿者:船長 投稿日:2009年11月7日(土)

10月22日に実施のふるさと教室(小野小・浜市小)の時のアンケートの一部が寄せられましたので転記します。「設問:一番勉強になった活動は何ですか?」

星を見る会で星座が88こあるなんてはじめてしてびっくりしました。ぼくはもっとあると思っていたのに88こだったので少ないなあと思いました。

わたしは、一番勉強になった活動は、星を見る会です。星の位置や、オリオン座が出るのは冬、さそり座が出るのは夏だとう理由が分かりました。全て原文のままですが、星を見る会を通しての発見や驚き、感動が素直に記されています。我々の活動の感想や評価を聞くチャンスは余りありませんが、子供たちからこう言う感想を貰うと活動を継続するエネルギーになりますし、活動に対する最高の報酬ではないか?などと言う思いになります。

お寄せ頂きました東松島市・担当の方に感謝申し上げます次第です。

編集後記

今年度は観望会が41回。その中で皆様はどんな思い出が残りましたか?

私は9名参加の岩沼・モンタナリゾトですね。合宿も星まつりもなかったので、この岩沼でのワイワイ・がやがやは楽しい思い出です(空は生憎の曇り、小雨でしたが)
また今回、日食を何度も体験されている遠藤さんに太陽の観かたを書いて頂きました。(伊)

うちゅうせんに乗ってはや2年。多くの観望会を体験させて頂き、自主的に夜空を見上げる機会も多くなりました。次年度は、船長に同行して「星空ライブ」も体験したいです。(なべ2)

🔍 1月はそれ程雪が降らなかったのですが、2月、3月に大雪が降って意外に思う事の多い時節に感じられました。ふたご座のそばで赤く輝く火星が印象的です。(今)

西多賀小学校で・・・ 投稿者:船長 投稿日:2009年11月12日(木)

10:40～12:20まで10分の休憩をはさみ2校時分の授業を体験して来ました。星を見る会を通して光害を考える・のプログラムの要請を受けた物ですが、日中の授業ですから当然ながら星を見る事は出来ません。と言う事で、前半は地球と太陽・月の関係、星までの距離などの話をし最後に「オリオンとさそり」のスライドを楽しんで貰いました。

後半は、光害について・日食の話・質問コーナーで終了の時間が来てしまいました。

後半でも星座物語をする事で予告していましたが、時間切れで出来ず・残念そうでした。

天文シールと天体写真を渡しての終了でしたが、後日感想文を貰う事を約して来ました。どんな気付きが有り、何が楽しかったのか? 楽しみに待ちたいと思います。

6年生4クラスで150人を希望で3班に分け、3つプログラムを実施したとの事でしたが、わが班50名は女性が圧倒的多数でした。音楽室で地べたに座ってもらっての授業でしたが、とっても楽しい初体験となりました。

生徒達はお尻が冷たかったカモ?

昨年は世界天文年で皆既日食もありイベントや話題に事欠かない1年でした。

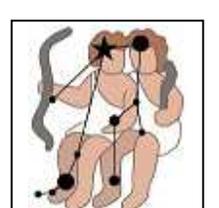
さて今年度は国民読書年ですので、子どもたちに本を楽しんでもらうため、星座物語をはじめ星をきっかけとして本好きになるような演出、新作作りチャレンジしてみるのものがいいでしょうか。

二人掛け合いでお芝居のような星座物語なんていうのは?(辺)

早いもので今年度も終わりに近づいています。観望会に来られた方が喜んでもらえるのがいいですね。また観望会楽しく参加していきます。そろそろ雑木林の花が咲く季節になりました。下見たり上見たり忙しくなりますね



(石)



おことわり:今年度最後の七郷市民七夕観望会については紙面の都合により写真のみ掲載としました。ご了承願います。